

令和5年度関東高等学校男子バスケットボール大会
兼 第77回関東高等学校男子バスケットボール選手権大会
＜Bブロック1回戦＞

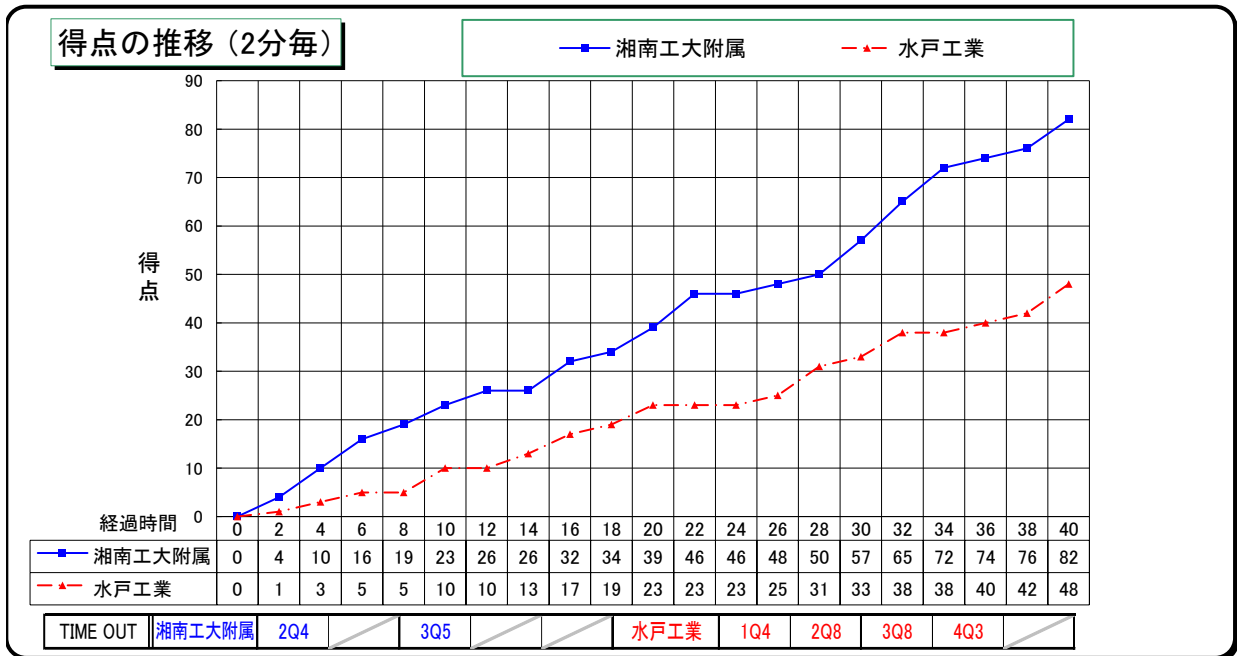
令和5年6月3日(土)	アダストリアみとアリーナ	大会1日目	Aコート	第1試合 9:00～													
<チームA> 湘南工大附属 神奈川		82 <table border="0"> <tr><td>23</td><td>1Q</td><td>10</td></tr> <tr><td>16</td><td>2Q</td><td>13</td></tr> <tr><td>18</td><td>3Q</td><td>10</td></tr> <tr><td>25</td><td>4Q</td><td>15</td></tr> </table>	23	1Q	10	16	2Q	13	18	3Q	10	25	4Q	15	48	<チームB> 水戸工業 茨城	
23	1Q	10															
16	2Q	13															
18	3Q	10															
25	4Q	15															

主審: 大木 裕一 (山梨) 第1副審: 塚田 和稀 (栃木) 第2副審: 村上 翔 (埼玉)

S	No	選手名	得点	3P		2P		FT		F	リバウンド		アシスト
				成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	
○	00	川口 湧正	2			1	2			1		2	1
○	0	竹内 快成	10		1	4	7	2	2				1
◎	3	米山 莉生	25	1	2	11	16			2	1	8	
◎	4	山田 哉登	9			3	4	3	3	1	3	4	
○	5	脇 明佑斗	2			1	3			1	1	1	
○	8	鎌田 倅明											
○	10	石川 葵								1			
○	13	座間 大飛											
◎	14	木村 怜嗣	13	1	2	4	6	2	2	1	3	11	
○	15	楠原 史悠	2			1	1			1		1	
○	18	宮崎 史弥	4			2	2			1	2		
○	20	皆川 晴	2			1	2						
	32	シライ レネ											
◎	38	穂谷野 駆	9	1	6	2	5	2	2	3		5	1
◎	91	オディギェ プレシャス恵	4			2	6			2	1	6	
コーチ 今野 雄三													
合計			82	3	11	32	54	9	9	14	11	39	2

S	No	選手名	得点	3P		2P		FT		F	リバウンド		アシスト
				成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	
◎	0	田所 汰心	21	1	5	7	20	4	4	2	1	3	
○	1	大森 啓心	1		3			1	2			1	1
	3	石井 昂太郎											
○	5	藤倉 康喜					1				2		
◎	6	佐々木将哉	15		5	6	19	3	5	2		4	
○	7	西村 優也	2		1	1	4					3	
○	10	岡田 真知			1					1	1	1	
○	11	酒井 大和	6		1	3	7					1	1
○	12	石塚 仁和	2		1	1	1		2	2		1	
◎	17	戸賀 光優	1		1			1	2	1	3	2	
	29	小磯 友雅											
◎	32	船越 大陽			2	2				1			
	77	小沼 友輝											
	88	青木 琢真											
◎	99	高島 悠河			1	3				3	2	2	
コーチ 大好 悟													
合計			48	1	21	18	57	9	15	14	8	18	1

◎:スターター / ○:出場 / 3P:3点シュート / 2P:2点シュート / FT:フリースロー / F:パーソナルファウル



戦評 記入者: 大和田 泰信

関東大会Bブロック男子1回戦湘南工科大学附属(以下湘南)と水戸工業高校(以下水工)の対戦。

第1Q、湘南はオールコートマンツーマンディフェンス、水工はハーフコートマンツーマンディフェンスでスタート。湘南はピックアンドロールから#14木村、#91オディギェがジャンプシュートを決め、リズムをつかむ。それに対して水工は、#6佐々木、#0田所のドライブで攻めるが、高さにも勝る湘南が良く守り、23-10と湘南リードで第1Q終了。

第2Qはお互いに厳しいディフェンスで守り合いの展開となる。湘南は4分30秒でタイムアウトを取って、オールコート1-2-1-1のプレスを仕掛けて試合のリズムを変えようとするが、水工は慌てずにボールを運び、ドライブからの合わせのプレイなどで得点を重ねてよく踏ん張り、39-23で前半を折り返す。

第3Q、湘南はディフェンスをオールコートマンツーマンに戻しプレッシャーを強める。水工は#0田所、#11酒井が果敢に攻め込むが、高さにも勝る湘南が圧倒的にリバウンドを支配し、試合のペースを握り、57-33とリードを広げ第3Qを終えた。

第4Q、湘南のペースが続くと水工は7分12秒でタイムアウトを取り、ディフェンスをオールコート1-2-1-1プレスに変えて反撃を試みるが、湘南は厳しいディフェンスからリバウンドを奪いブレイクに繋げ得点を重ね、82-48で勝利を収めた。